

# 新型コロナウイルス感染症に関する 差別や偏見の未然防止のために



## 3つのこわさ

- ① 病気 (ウイルス)
- ② 不安 おそれ
- ③ 偏見 (へんけん) 差別

① 病気 (ウイルス)

- ・手洗い、消毒
- ・マスク着用
- ・せきエチケット
- ・人ごみをさける

**自分のため 新しい生活の仕方  
まわりの人のため**

STAY HOME

② 不安 おそれ

悪い情報ばかりに目を向けない

- ☆正しく知ること
- ☆いつもの生活や習慣、ペースを守ること。

**今、自分ができていることを  
がんばること**

子どもたちもしっかり学習しています。保護者の皆さんにお願いです。「もし自分が・・・自分の家族が・・・自分の子どもが・・・」と考えてください。西小の誰一人として誹謗中傷や差別で傷つく人がいないようにしたいものです。

力を合わせて乗り越えるとは、このようなことではないでしょうか。

(裏面に県人権情報雑誌「コック口通信 vol.44」の一部を載せています。)

患者さんのために病院で働いている方たち  
保育やかいごの仕事をしている方たち  
配送や配達の仕事をしている方たち

どでどんな方が今のくらしを支えてくれているのだろうか？

**そしてみなさんも！  
今だからこそ、みんなが力を  
合わせて乗り越えることが  
大切！**

家庭科で「なみ縫い」などを学習しました。学習したことを生かして、古タオルを各家庭から持ち寄り、雑巾を縫いました。5クラスで479枚の雑巾ができたそうです。家庭科の時間に、ゲストティチャーとして保護者の皆さんにもお世話になりました。8月7日菊陽町社会福祉協議会の方にお渡しし、人吉市へ届けていただくことになっています。

コロナウイルス感染症の増加は、遠くの話ではなくなってきました。病気そのものに対する恐さもありますが、もっと恐いのは、コロナウイルス感染症にかかった人やその治療に携わる人への誹謗中傷、差別です。

この資料は、5月下旬から6月、分散登校から、本格的に登校再開された頃に、全学級で学習した資料の一部です。『こわい』『不安』などいろんな気持ちがあるけれど、それはみんな同じ気持ちなんだ」と気持ちの共有をした上で、3つの恐さについて担任と学習を進めました。

子どもたちは、1年生から6年生まで、発達段階に応じて、いじめ問題、部落問題、水俣病問題、ハンセン病問題など、人権に関する学習をしています。「正しく知ることの大切さ」や、「自分と重ねて考えることの大げささ」、「差別する側ではなく、差別をなくしていく側にみんなであってほしい」と、繰り返し学んでいます。コロナウイルス感染症に関しても、上記と同じように、今回紹介している資料を使い、全学年で学習をしたというわけです。

しかし、下の「こんな出来事、どう思う？」のような誹謗中傷が後を絶たない状況であると聞きます。当然のことですが、新型コロナウイルス感染症には誰もが感染する可能性があり、かかった人には責任はありません。感染すれば病気の恐さはありますが、感染したこと自体は悪いことではありません。もしかしたら、自分は既に感染しているが無症状で、誰かに感染させているかもしれない。

感染者やその家族を特定して、心ない言動、差別的な対応（SNSで拡散するなども含め）をしている大人がいることも多く報道されています。「実際に、そのような状況があると聞いた。」という話も身近に聞こえてきます。

感染者やその家族を特定して、心ない言動、差別的な対応（SNSで拡散するなども含め）をしている大人がいることも多く報道されています。「実際に、そのような状況があると聞いた。」という話も身近に聞こえてきます。

## ③ 偏見 (へんけん) 差別

### こんな出来事、どう思う？

感染がかくにんされた方の家に、石が投げこまれてガラスが割られた・・・

病院で感染した人の治りようにあっている看護師さん。その看護師さんの子どもが保育園に行けない・・・

感染していない飲食店の方が、SNSなどでまちがったうさを広められ、「店を閉める」とはり紙をされる・・・

**もし自分が、自分の家族が、と考えたら・・・**

## 被災地への支援

### 5年生家庭科の学習を生かして

県南の豪雨被害は大きく、復興には、まだまだ時間がかかりそうです。5年生では、家庭科で「なみ縫い」などを学習しました。学習したことを生かして、古タオルを各家庭から持ち寄り、雑巾を縫いました。5クラスで479枚の雑巾ができたそうです。家庭科の時間に、ゲストティチャーとして保護者の皆さんにもお世話になりました。8月7日菊陽町社会福祉協議会の方にお渡しし、人吉市へ届けていただくことになっています。

# 菊陽西小だより



NO.15  
R2. 8. 7  
菊陽西小学校  
文責：草場ルミ子

明日から夏休みに入りますが、保護者の皆さんにお願いがあります。もし、夏休み中、「ご家族やお子さんが、PCR検査を受ける」、「その結果」、「濃厚接触者になった」などの場合、学校にも連絡をいただきますよう、ご協力をお願いいたします。これは、感染拡大を防止するためにお願いするものであり、連絡をしてくださったご家族や子どもたちには決して不利益が生じないよう配慮いたします。本文にも書いたとおりです。自分のため、みんなのために、力を合わせて、この困難の時期を乗り越えていくため、お願いいたします。

夏休みは、閉庁(十二、十四日)の期間があったり、留守電に切り替わる時間が早まったりします。留守電の利用、閉庁期間終了後のお電話、緊急の場合は、下記の教委緊急電話に連絡をいただくなどをお願いいたします。いつも通りの日常が、いかに大切なのか、この半年で誰もが実感しています。いつも通りの学校生活を子どもたちが送れるよう、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

★菊陽西小  
**232-1745**  
(17時から翌朝8時まで留守電対応)  
★教育委員会緊急電話  
**080-8560-8450**  
(土日や閉庁期間及び17時から20時)

